

# アベノミクスの成果と展望

早稲田大学政治経済学部教授

原田 泰  
はら だ ずか

- \*アベノミクスですべて良くなっている
- \*賃金は上がっていないが雇用が増えている
- \*短期では経常収支赤字は拡大しない
- \*物価上昇なく景気回復するならばお結構
- \*長期でも安定しているアメリカの成長率
- \*日本経済が停滞した理由は何か
- \*TPPは日本の産業を強くする
- \*女性の活用でGDPが2割近く増える
- \*法人税減税、規制緩和は待ったなし
- \*97年時より消費増税の悪影響は薄い



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は、アベノミクス2年目を迎えまして、第1、第2の矢の成果と第3の矢である成長戦略の今後につきまして、お話ししていただけたと思います。原田先生、今週火曜までミラノにおいでになったそうで、ちょっと面白いお話も伺えるかもしれません。

今日は日本も安全保障の問題とかで騒がしいのでございますが、肝心の経済がよくならなければ何もできませんので、今日はそういうことで有意義なお話がお聞きできると思います。それは原田先生、よろしくお願いたします。

（拍手）

原田 ご紹介にあずかりました原田です。本日はよろしくお願いたします。お手元の資料に基

づいてお話ししたいと思います。まず最初に、アベノミクスがなぜ必要になったのかということとです。日本経済が長期的に停滞しているということは、皆様には今さらお話しするまでもないと思いますが、国際的に見ても停滞していること甚だしいということです。

図表1は、1人当たり実質購買力平価GDPがアメリカを1としてどういう関係にあるかを書いたものです。1945年から直近までで、要するに、日本はずっとアメリカに追いつき、追い越す勢いがあったのですが、90年代以降はむしろアメリカに引き離されてしまう。その中で、アジアのシンガポールや香港は日本はもちろん、アメリカよりも豊かになっている。さらに台湾は購買力平価で見ると日本よりも豊かに